

2022年度
第2四半期(上半期)報告
説明資料

2022年11月24日

 朝日生命保険相互会社

2022年度第2四半期(上半期)報告のポイント

＜朝日生命グループ※＞(※グループ:朝日生命+なないろ生命)

保険業績(新契約)は前年度上半期実績132億円を上回り、167億円となりました。

基礎利益は、新型コロナウイルス感染症による入院給付金等の増加の影響により、前年度上半期実績181億円を下回り、43億円となりました。

＜朝日生命＞

保険業績(新契約)は、103億円となりました。基礎利益は、78億円となりました。

＜なないろ生命＞

保険業績(新契約)は、63億円となりました。

なお、開業から間もないため、基礎利益については△35億円となりました。



朝日生命の2022年度上半期の主な取組みについて(トピックス)

「サステナビリティ経営」の推進

当社では、生命保険会社の本業である生命保険事業、資産運用の両面において、サステナブルな社会の実現に向けて、取組みを推進しております。

- 2022年4月に社長を委員長とする「サステナビリティ経営推進委員会」を設置し、本業での取組みに加え、気候変動対策を中心とした環境へ取組み等の重要課題の取組みを推進。
- 2022年8月にESG投融資の一環として、ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社傘下で、サステナブル投資に特化した投資を行うミローバ社が運用するエネルギー移行ファンドへの投資を開始。

医療・介護保険への注力

- 2022年10月に病気やケガの療養による収入の減少・医療費の増大に備えることができる「療養サポート」を発売。[\(詳細はこちら\)](#)

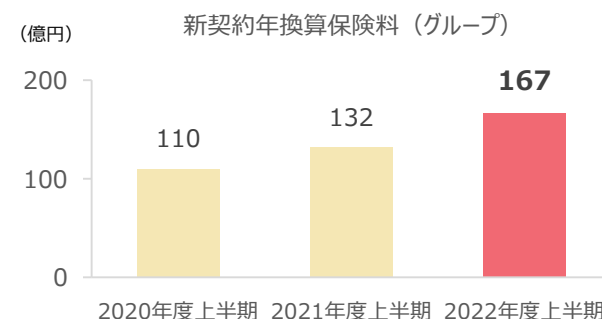


1. 業績の状況 [新契約・消滅] (個人保険・個人年金保険)

- ◆ 新契約年換算保険料(グループ)は、前年同期比126.5%と増加しました。うち第三分野についても前年同期比131.1%と増加しました。
- ◆ 消滅契約年換算保険料(グループ) (解約+失効+減額-復活)は、前年同期比105.5%と増加しました。

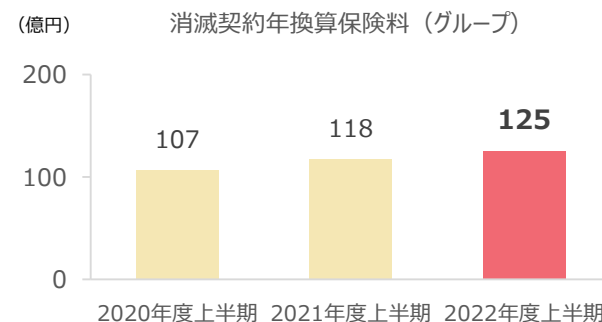
新契約の状況

区分	2020年度 上半期	2021年度 上半期	2022年度上半期	
			前年同期比	
新契約年換算保険料(グループ)	110億円	132億円	167億円	126.5%
うち 朝日生命*	同上	同上	103億円	—
うち なないろ生命	—	—	63億円	—
うち 第三分野	91億円	112億円	147億円	131.1%



消滅契約の状況

区分	2020年度 上半期	2021年度 上半期	2022年度上半期	
			前年同期比	
消滅契約年換算保険料 (グループ) (解約+失効+減額-復活)	107億円	118億円	125億円	105.5%
うち 解約・失効契約	100億円	111億円	118億円	105.7%
対年度始消滅率	2.03%	2.28%	2.45%	+ 0.17ポイント



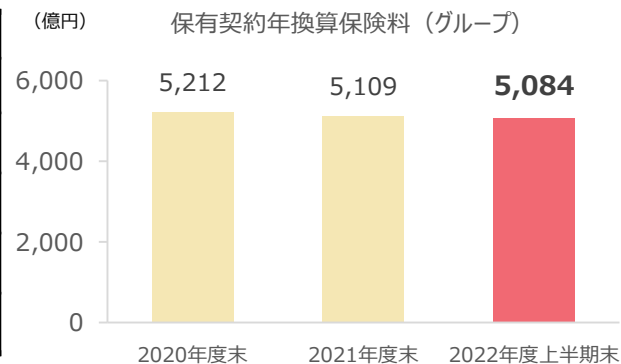
※「うち朝日生命」の2020年度上半期、2021年度上半期の実績については、なないろ生命分社化前の代理店チャネルの実績を含みます。

1. 業績の状況〔保有〕(個人保険・個人年金保険)

- ◆ 保有契約年換算保険料(グループ)は、主に貯蓄性商品の保有減少により、前年度末比99.5%となりましたが、うち第三分野については、前年度末比102.5%と増加しました。

保有契約の状況

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度上半期末	
			前年度末比	
保有契約年換算保険料(グループ)	5,212億円	5,109億円	5,084億円	99.5%
うち 朝日生命	同上	5,072億円	4,987億円	—
うち なないろ生命	—	37億円	97億円	—
うち 第三分野	2,214億円	2,277億円	2,333億円	102.5%

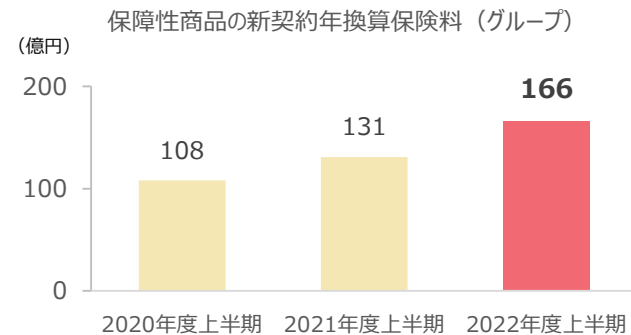


2. 保障性商品の業績の状況

- ◆ 保障性商品※1の新契約年換算保険料(グループ)は、朝日生命の営業職員チャンネルが好調を維持し、加えて、なないろ生命の業績伸展により、前年同期比126.1%と増加しました。
- ◆ 保障性商品の保有契約年換算保険料(グループ)は、前年度末差+45億円と増加しました。

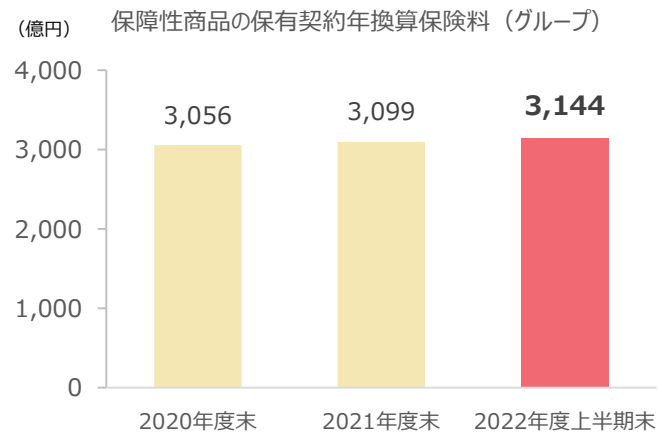
保障性商品の新契約の状況

区分	2020年度 上半期	2021年度 上半期	2022年度 上半期	
			前年同期比	
新契約年換算保険料(グループ)	108億円	131億円	166億円	126.1%
うち 朝日生命	同上	同上	102億円	—
うち 営業職員チャンネル※2	76億円	97億円	98億円	101.4%
うち なないろ生命	—	—	63億円	—



保障性商品の保有契約の状況

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度上半期末	
			前年度末差	
保有契約年換算保険料(グループ)	3,056億円	3,099億円	3,144億円	+45億円
うち 朝日生命	同上	3,061億円	3,047億円	△14億円
うち 営業職員チャンネル※2	2,828億円	2,831億円	2,829億円	△1億円
うち なないろ生命	—	37億円	97億円	+60億円



※1 保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障・代理店で販売している無配当団体医療保険等の第三分野の合計です。

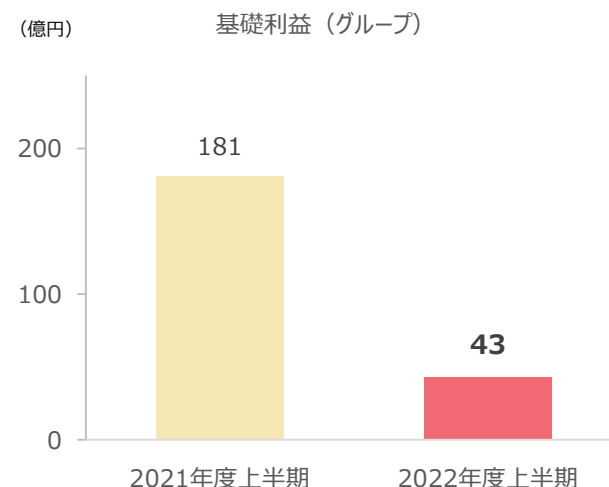
※2 営業職員チャンネルには、代理店経由での法人契約を含みます。

3. 収支の状況

- ◆ 基礎利益(グループ)は、新型コロナウイルス感染症による入院給付金等の増加により保険関係損益が減少したことから、43億円と前年同期と比べ、138億円減少しました。
- ◆ 朝日生命単体の基礎利益は、78億円となりました。

基礎利益の状況

区分	2021年度 上半期	2022年度上半期	
			対前年同期増減
基礎利益(グループ)	181億円	43億円	△138億円
うち 朝日生命	同上	78億円	—
保険関係損益	386億円	230億円	△156億円
利差損益(逆ざや額)	△204億円	△151億円	+53億円
うち なないろ生命	—	△35億円	—



<参考①> 保険料等収入の状況

区分	2020年度 上半期	2021年度 上半期	2022年度上半期	
				対前年同期増減
保険料等収入(グループ)	1,932億円	1,925億円	2,052億円	+127億円

<参考②> 経常利益・親会社に帰属する中間純剰余の状況

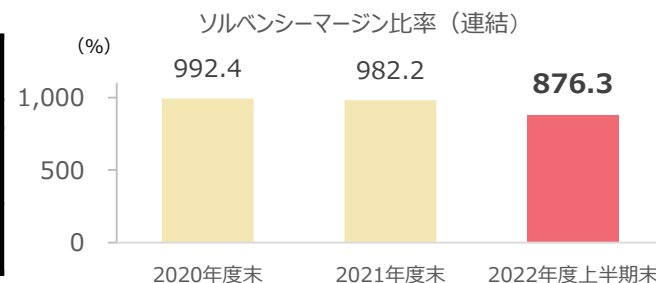
区分	2020年度 上半期	2021年度 上半期	2022年度上半期	
				対前年同期増減
経常利益(連結)	246億円	246億円	139億円	△106億円
親会社に帰属する中間純剰余	171億円	175億円	109億円	△66億円

4. 財務の状況

- ◆ ソルベンシー・マージン比率(連結)は、876.3%と前年度末に比べ、105.9ポイント低下しました。
- ◆ ソルベンシー・マージン比率(朝日生命単体)は、有価証券含み益の減少等により、836.6%と前年度末に比べ、118.3ポイント低下しました。
- ◆ 実質純資産額(単体)は、有価証券含み益の減少等により、7,890億円と前年度末に比べ、2,655億円減少しました。
- ◆ 2025年8月に償還期限を迎える基金800億円のうち、400億円を2022年8月に期限前償還しました。

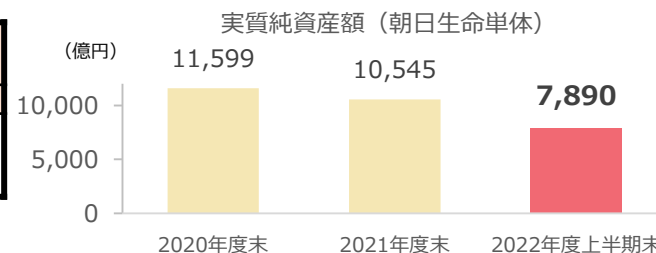
ソルベンシー・マージン比率の状況

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度上半期末	
			対前年度末増減	
ソルベンシー・マージン比率(連結)	992.4%	982.2%	876.3%	△105.9ポイント
ソルベンシー・マージン比率(朝日生命単体)	972.0%	954.9%	836.6%	△118.3ポイント



実質純資産額の状況

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度上半期末	
			対前年度末増減	
実質純資産額(朝日生命単体)	11,599億円	10,545億円	7,890億円	△2,655億円



<参考>有価証券の含み損益の状況【一般勘定】(市場価格のない株式等および組合等を除く)

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度上半期末	
			対前年度末増減	
有価証券全体(朝日生命単体)	5,358億円	3,858億円	1,604億円	△2,254億円
うち 国内株式	2,279億円	2,463億円	2,066億円	△396億円
うち 国内債券	2,373億円	1,342億円	81億円	△1,261億円
うち 外国証券	625億円	19億円	△525億円	△545億円
うち その他の証券	56億円	13億円	△39億円	△53億円

【参考】中期経営計画の進捗状況

中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」における経営戦略目標の進捗

- ◆ 中期経営計画における経営戦略目標の各項目については、概ね前年実績を上回り、着実に進捗しています。
- ◆ グループ介護保険新契約件数については、前年度好調の反動で、前年比86.5%になりましたが、目標に対しては着実に進捗しています。

経営戦略目標の進捗状況

	2023年度目標	2022年度上半期の状況
グループお客様数	280万名	270.1万名 (前年度末差+6.1万名)
グループ保障性商品の 新契約年換算保険料	350億円	166億円 (前年比126.1%)
グループ介護保険新契約件数	11.7万件	5.4万件 (前年比86.5%)
グループ保障性商品の 保有契約年換算保険料	3,300億円	3,144億円 (前年度末差+45億円)

※保障性商品：貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障・代理店で販売している無配当団体医療保険等の第三分野の合計です。

※グループ：朝日生命となないろ生命

【参考】新型コロナウイルス感染症に関するお支払状況について

- ◆新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により、感染者数が急拡大したことから、2022年度上半期の入院給付金等(朝日生命単体)は、前年に比べ大幅に増加しました。
- ◆新型コロナウイルス感染症による入院給付件数134,635件のうち、大部分が「みなし入院」によるものです。

保険金・給付金のお支払い状況(朝日生命単体)

	2022年度 上半期	(ご参考) 2021年度
死亡保険金等	15,339件 427億円	28,995件 833億円
新型コロナウイルス 感染症によるもの	285件 10.0億円	400件 16.1億円

	2022年度 上半期	(ご参考) 2021年度
入院給付金等	405,186件 267億円	337,769件 252億円
うち 新型コロナウイルス 感染症によるもの ()内はみなし入院	134,635件 (133,048件) 163.2億円 (161.9億円)	26,334件 (23,713件) 32.2億円 (29.0億円)